

平成19年度 第1回 函館市榎法華地域審議会会議録

開催日時	平成19年7月31日 火曜日 午後3時00分～4時33分
開催場所	函館市榎法華支所 2階 旧議場
内 容	<p>報告事項</p> <p>(1) 前回の意見等の集約結果と取り組み状況について</p> <p>議題</p> <p>(1) 平成18年度事業の実績報告について</p> <p>(2) 平成19年度事業計画について</p> <p>地域振興全般に関する意見交換</p> <p>その他</p>
出席委員	<p>木下恵徳会長，中村陸三副会長，中市治樹委員，中村元勝委員，佐藤シマ委員，唐戸晃委員，小市公三委員，越崎賢弥委員，田中庄司委員，田中明美委員，小市光子委員，五ノ井孝司委員，三ツ石洋一委員</p> <p style="text-align: right;">(計13名)</p> <p>・報道関係 函館新聞社 (計1社)</p> <p>・傍聴者 (計0名)</p>
欠席委員	<p>中市裕貴委員，佐々木正俊委員</p> <p style="text-align: right;">(計2名)</p>
事務局の出席者の職氏名	<p>三 輪 秀 悦 榎法華支所長</p> <p>小山内 克 典 榎法華支所地域振興課長</p> <p>加 藤 忠 文 榎法華支所住民サービス課長</p> <p>中 村 守 榎法華支所保健福祉課長</p> <p>越 崎 重 平 榎法華支所産業課長</p> <p>嶋 村 秀 史 榎法華支所建設課長</p> <p>山 田 勝之進 榎法華支所地域振興課主査</p> <p>佐々木 亮 榎法華支所地域振興課主任主事</p> <p>村 田 剛 榎法華支所地域振興課主任主事</p> <p>佐 藤 洋 一 企画部地域振興室長</p> <p>佐 藤 直 孝 企画部地域振興室地域振興課長</p> <p>進 藤 昭 彦 企画部地域振興室地域振興課主査</p> <p>小 玉 亮 企画部地域振興室地域振興課主事</p>

1 開 会 (午後3時00分)	
2 会長あいさつ	会長 挨拶
3 支所長あいさつ	支所長 挨拶
<p>4 報告事項</p> <p>事務局 (小山内課長)</p> <p>議長</p> <p>事務局 (小山内課長)</p> <p>地域振興課 (山田主査)</p>	<p>ここで、出席委員の報告をさせていただく。出席者13名、欠席者2名。過半数を超えているので、地域審議会の設置に関する規程第8条第3項の規定により会議は成立している。</p> <p>これからの進行については、地域審議会の設置に関する規程第8条第2項の規定により、木下会長にお願いしたい。木下会長よろしく願います。</p> <p>ただ今から、平成19年度第1回函館市榎法華地域審議会を開催する。</p> <p>早速、本日の議題に入る。「4 報告事項 (1) 前回の意見等の集約結果と取り組み状況について」事務局より報告させる。質疑等についてはすべての報告が終わってから一括して受けたいと思うのでよろしく願います。</p> <p>それでは、18年度の第4回地域審議会において、委員の皆さまから出された意見要望等に対する取り組み状況を各担当課よりご報告させていただきます。</p> <p>それでは、3月に意見・要望が出された旧造船所の処理の関係である。小市光子委員からご指摘のとおり非常に危険な状態であるということは認識している。このため、火災予防上、ならびに防災上から関係部局に対し旧榎法華村当時の所有者への数回にわたる危険物の撤去依頼など文書指導の取り組み状況の説明、それから、行政代執行の可能性などについて協議を行ってきた。</p> <p>しかし、建物が民法上個人の所有であることから行政では除去できないというのが実態である。所有者等への文書による行政指導しか無いというのが実情である。また、行政の代執行により解体・除去ができないか、それについても、協議をしてきたが、代執行に伴い多くの時間、多くの人数が必要とされることと解体・除去に伴って費用の徴収が困難であることから、行政の代執行については廃屋の取り壊しは難しいとのことである。仮に、建物保存上の安全配慮を怠り他人に損</p>

<p>議長</p>	<p>害等を与えた場合は，所有者がその損害賠償を負うことになるが，いずれにしても市民が安心して安全に暮らせるよう，また，通学する児童生徒など事故防止のため引き続き関係部局と協議をしながら指導して参りたいと考えている。</p> <p>次に，造船所内からの悪臭の件であるが，今回，建物の前にも行って見たが，今回，悪臭は確認することができなかった。</p> <p>しかし，今後とも推移を見ながら留意していきたいと思っている。</p> <p>以上です。</p>
<p>産業課 (越崎課長)</p>	<p>はい，産業課長。</p> <p>次に，函館市榎法華振興公社の経営状況についてということで，前回，小市（光子）委員から経営の状況を年に2回ほど情報公開していただきたいと，このような要望が出された。それに対して，3月27日の前船木支所長の答弁であるが，今年の4月1日から常勤の取締役社長が就任する予定なので，この件については，新社長に引継ぎし地域住民との会合を持つ方向で検討していきたいと，このように答弁している。</p> <p>まず，取り組み状況を報告する前に，函館市榎法華振興公社の社長が前副支所長の天津廣が社長に就任したことをご報告申し上げます。</p> <p>それで，私どもの取り組み状況であるが，地域住民との会合の関係については，振興公社とも協議をして年に2回ほど地域住民を交えた地域懇談会を開催すると，このようなことで話がされている。それで，第1回目は，7月に開催されている。</p> <p>2回目については，来年の3月の間に開催を予定されていると，このように受けている。以上です。</p>
<p>議長</p> <p>建設課 (嶋村課長)</p>	<p>次に，建設課長。</p> <p>榎法華港の整備について，三ツ石委員より意見要望があった。内容についてであるが，最近，食の安全性が厳しく問われるようになってきていると。当地域における水揚げされる魚の大半が榎法華港内にある荷捌き所に集まって来るわけであるが，カモメやカラスなどの糞害に注意しなければならない状況であると。現在，見直し中の榎法華港整備計画の中に荷捌き所前への屋根高架整備について計画に入れてくれないだろうかという内容である。</p> <p>3月27日の答弁を踏まえて，その取り組み状況であるが，榎法華港の整備計画の検討にあたり，荷捌き施設前の荷揚場において，衛生管理や漁業者の就労環境改善のための屋根付き施設の整備に対する要請があることは，国・函館開発建設部に伝えているところである。</p> <p>現在，供用されている物揚場の整備が割と新しい年度である。平成15年度と16年度の2か年に整備したわけである。</p> <p>それで，あまり年数も経過をしていないということで，また，そこに新たに金をかけるということは，なかなか難しい状況にある。</p> <p>それともう一つは，その屋根付きの施設をもう少し良い面も影響あ</p>

	<p>る面も出てくるのではないかと、そういうような意見もあり、その辺の議論をもう少し深めていく必要があるのかなということである。</p> <p>ですから、なかなか今すぐ来年、再来年にこの辺の施設整備をするということには、なかなか難しいかも分からないが、その辺のところを総合的に議論を深めて検討していきたいと考えている。これが一点である。</p> <p>それから、次のページで、海浜公園整備について中村陸三委員より要望が出されている。恵山地域では日ノ浜地区に海浜公園がある。椴法華地域では、銚子ビーチ辺りが公園として適地ではないかと思うと。それで、できれば銚子地区にもそういう海浜公園等の整備を計画していただけないものかというような内容である。それで、同じく3月27日の答弁内容を踏まえて、その取り組み状況であるが、合併後、4地域の中で海水浴場として当地域の銚子ビーチが検討の俎上に上がった経緯がある。海浜公園の位置付けとして、海水浴場を含めるのかまたは、海岸サイドのみの公園化だけで良いのか、この辺を慎重に検討する必要があるのかなと考えている。</p> <p>今後、適地や内容等を含めて、総合的に検討していきたいと考えている。</p> <p>以上です。</p>
議長	<p>次に、椴法華中学校の統合問題について、三輪支所長。</p>
三輪支所長	<p>教育事務所長不在ですので、前教育事務所長でしたので私から学校の統廃合問題について、取り組み状況をお話しさせていただく。</p> <p>まず、五ノ井委員の方から、中学校の生徒数が減少してきていると、そういう中で近い将来、近隣中学校との統合が心配だということで意見があった。それに対して、私の方から学校の再配置について19年の6月以降に答申が出てくる予定になっていると、そういう段階で回答したいということで答えていたが、実は、函館市教育委員会に行って確認をしてきたが、市立小中学校の再編についての学校教育審議会に諮問している現状があるが、答申が返ってくるのが少し遅れていると、そういう答えが返ってきており、これがもう少し時間的にかかる、そういう回答をいただいた。</p> <p>それで、答申が遅れている現状をお伝えしながら、この方向が新たに見えた段階で、この機会を捉えて報告をさせていただきたいと、このように考えている。</p> <p>ただ、いろいろ質疑を交わしている段階での感触をお話しすると、当分の間は、学校の統廃合は無いと、そういうふうにして感触を得て帰ってきているので、いずれにしても、きちっとした答申が出た時点で、再度、皆さんの方に報告をさせていただく。以上です。</p>
議長	<p>ただ今の報告事項について、何か質疑等あればお願いする。</p> <p>無ければ次に進みたいと思うが、よろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>

<p>5 議題</p> <p>議長</p> <p>事務局</p> <p>議長</p> <p>事務局</p> <p>議長</p>	<p>(1) 平成 1 8 年度事業の実績報告について</p> <p>次に、「5 議題(1) 平成 1 8 年度事業の実績報告について」事務局より説明させる。</p> <p>平成 1 8 年度事業の実績報告について、事務局および各課長より説明。</p> <p>(2) 平成 1 9 年度事業計画について</p> <p>次に、平成 1 9 年度事業計画について、事務局より説明させる。</p> <p>平成 1 9 年度事業計画について、事務局および各課長より説明。</p> <p>事務局からの説明が終わったのでこれより質疑に入る。 ただ今の説明について、何か質疑・ご意見等ないか。質疑等が無ければ次に進みたいと思うが、よろしいか。ございませんか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>6 地域振興全般に関する意見交換</p> <p>議長</p> <p>小市公三委員</p> <p>建設課 (嶋村課長)</p>	<p>次に、「6 地域振興全般に関する意見交換」である。</p> <p>ここでは、合併後、2 年以上経過した印象や感想、住民サービス関連などで普段から疑問に感じていること、不明な点等があったら、ご発言をお願いします。</p> <p>今のこの 1 9 年度の奴なんだが、前にも聞いたが、恵山線ですね恵風に行く道路、どのくらい進んでいるのかという話しをしたが、地権者があと何人か残っていると。その後、どのような状況か。</p> <p>私の方から、お答えをさせていただく。道道元村恵山線の改良事業であるが、大枠のスケジュールとしては、1 9 年度と 2 0 年度で用地、それから諸々の補償関係进行处理して、2 1 年度から本工事に入っていきたいというようなスケジュールを組んでいる。</p> <p>それで、用地と補償を、あまり数は少ないが、その内容については、ちょっといろいろ非常に難しいもの残っており、例えば、共有地でもって、持ち分の人の名義が亡くなっている人だとかそういうのが結構あるものですから、それらの手続にやはり時間を要しているということで、これを何とか 1 9 (年度) と 2 0 (年度) で処理をして、そして、2 1 (年度) からは間違いなく工事に着手できるような形で今進めて、鋭意努力しているところである。以上です。</p>

<p>小市公三委員</p>	<p>今、課長の話し聞いて安心した。長くかかったものですから、これがまた白紙になるのかなというような感じで我々も心配していたところである。是非、長い間ご苦労さんでしたけれども、頑張ってやって下さい。</p>
<p>議長</p>	<p>他にございませんか。無ければ、私の方から一つあるので、発言させていただきます。</p> <p>佐藤企画部地域振興室長にお尋ねする。現在、4支所の体制であるが、今年の春の市長選挙において、西尾、当時は候補、今は市長だが、西尾市長のマニフェストに総合支所という言葉が出てきた。</p> <p>今まで、聞いたことも無い言葉であり、ちょっとどういうことかなということで大変疑問というか分からない点があるので、その点について、もし、函館の所見が出ていたら、願います。</p>
<p>企画部 (佐藤室長)</p>	<p>ただ今、議長の方から今回の市長のマニフェストの関係の地区制度のことだと思ふ。その件について、今、私ども分かる範囲でお知らせをしたいと思っている。</p> <p>もう皆さん方、新聞でその7月の中頃の定例会議のやり取りの中で、新聞等でも記事見ているのではないかなとは思っているが、一応、定例会の質問、そして、市長の答弁を一緒にお知らせしたいと思っている。</p> <p>まず、市長がそのマニフェストに掲げた項目の一つとして地区制度というのがある。議会では、その地区制度に絡んでその今の4支所体制をどうするのかというのが出た。それで、市長の答弁であるが4支所の組織機構については、合併協議会において各旧町村の役場は支所とし、支所の組織については住民サービスの低下を招かないよう配慮するということを決定しており、このことは、市長としても当然に尊重していかなければならないということである。</p> <p>また、これまでどおり4地域の特性でもある水産業を中心とした地域振興にも努めて参りたい。それから地区制度に関しては、昭和の大合併、昭和30年代にやってる。全国的に見てもその都市部と農山漁村部が合併されたと。当時は、やはり合併すれば中心部が栄えて周辺の小さな農山漁村部地域については寂れていくというようなことも数多くあったということで、こうした轍を踏まないためにどうしたら良いかということで、平成の大合併では、地域の独自性を守って、それぞれ自立して発展していけるようなその連合自治体的な運営、あるいは、新しい広域的な自治体運営の形が今後必要になってくるのではないかと、そういう観点から将来の4地域のことを思ってその地区制度の創設についてマニフェストに掲げたと、そういう答弁があった。先程、申しましたとおり、その4支所の体制については、合併の合意もある。ですから、将来的にこのあり方については、地域の皆さまの声も十分聞かせていただき、また、これから、市長が来て移動市長室等もあるかと思う。そういう場も捉えながら、そして、慎重に時間をかけた中で検討していかなければならない案件であると、そういうふうに思っている。今の状態ではそうである。以上です。</p>

議長	<p>ありがとうございました。他にございませんか。はい、中村（陸三）委員。</p>
中村陸三委員	<p>「多様で力強い産業を振興するまちづくり」として、1番、2番これにかかわる事項であるが、18年度の中で三ツ石委員からの指摘があって、これ（市場前の物揚場に屋根の設置については）についての港湾の利用者から（強い要望があったことを）開発建設部に伝え、実現に向けていきたい。これに伴って、オリ、JFえさん関係あるんですが、現在、椴法華で漁業者が使っているオリおよびスカイタンク類であるが、これの設置場は、オリは魚を入れる物で一応洗わないと汚くなると。衛生上ですねこれは特に。そういう場合、JFえさんなのか市の方で補助金ないしそういう関係上で、できるものなのかどうかということをお聞きしたい。どちらの方にお聞きすれば。オリ置き場および洗浄ですね。</p>
議長	<p>洗浄する場所と置く場所とその設置を自治体で助成してくれたり、なんかにしてもらえるかと。</p>
中村陸三委員	<p>そうですね。JFえさんなのかそれとも市とも共同でできるものなのか、そこのところちょっとお聞きしたい。</p>
議長	<p>産業課長。</p>
産業課 (越崎課長)	<p>魚箱の管理ですよ。そして、保管施設ですよ。国の補助メニューの中には、そういうものはある。ただ、魚箱の、今考えている、多分、どのレベルのものを考えるかということなんですよ。うちらが2・3年前に一応調査した所を、当初は8百万円程度だったが、もっと簡易にできるのではないかと、そうすると2百万円以内でできるのではないかと、そういう考え方も出されている。</p> <p>魚箱については、風だとかで飛ぶということでそれらの設置についても検討はしたと、ただ、あそこの所は、今道路ができるんですよ。上の方に、先程、小市さんが質問していた部分。その道路ができることによって、あの辺の形状が変わると、そしてその形状を見た段階でその保管施設について検討を加えていこうという話しにはなっている。ただ、金額的には、そんなにかからないので、できれば組合さんの方で調整していただきたいと、このような話しを前にしたことがある。よろしいか。</p>
中村陸三委員	<p>はい。それでですね、組合としては、簡易製のものが良いのかそれともきちんとしたものが良いのか、まだ、結論的なものはきちんとは出ていないので、できれば国際水産都市として魚も随分いくようだが、これから、オリを洗う、洗うといったらおかしいが、水を流してオリの中に入れて綺麗にするというような方法、先程、三ツ石さんも前回の会議であった屋根を付けるとかそういう方向性を持っていきたいのであれば、簡易製のオリ箱の置き場ではなく、きちんとしたものが必</p>

	<p>要とするのではないかと。これは、J F えさんとも協議をしながらやることでしょうけれども、そういうような方向で一つ考えていただきたいということである。お願いしたいと。</p>
議長	<p>それ以上の返事いるか。</p>
中村陸三委員	<p>そここのところを良く考えて、協議していただきたい。</p>
議長	<p>要望を協議していただきたいという要望であるが。</p>
産業課 (越崎課長)	<p>今のお話しを受けて、これらの意見があったと、漁組さんにお伝えして検討していただければなと思っている。</p>
議長	<p>難しい、どこで主体の問題もあるのでその程度の答弁しかできないんだろうと思うが、よろしいか。もうちょっと突っ込んで返事ほしい。</p>
中村陸三委員	<p>はい。今のところはよろしい、もう一度またきちっと。</p>
議長	<p>機会があったらそういう提案等よろしく願います。 建設課長。</p>
建設課 (嶋村課長)	<p>港湾担当の方の基本的な考えを話しさせていただきたいと思う。産業課長から今お答えしたが道道の改良に伴って、港湾への入り、それから、道道の上り口の交差点で大分形状が変わる可能性がある。それに伴い、今、荷捌き所の裏手の方に魚箱等の配置を主にされているが、まず、その道道の改良に伴って形状が変わることがあるので、そこを見計らって、荷捌き地一体の総合的な、まず、基本的な計画をJ F えさんで考えていただきたいと。それに伴って、港湾なり行政で協議・支援できることは当然、地域として相談に積極的にやっていきたいと、これが行政側としての基本的な考えでいるので、そういう意見等があったらどんどんなるならない別にしてお話しをもって来ていただきたいと考えている。それでないと、なかなか前に進んでいかないので、是非、よろしくお願いしたいと思う。</p>
中村陸三委員	<p>分かりました。</p>
議長	<p>皆さんのいろんな意見が市の方を動かすということにも繋がるし、それから、いろんな経済面ではなくても協力をもらえるというのは大変大きな力になると思うので、いろんな意見があったらどんどん発言していただくようお願いする。 他にございませんか。</p>
小市光子委員	<p>椴法華の地名のことであるが、住民の皆さんにもきちっと理解されてない部分もあると思う。それで、椴法華出身者の方々、また、そうでない方々に良く私達質問される。どうして合併したからといって、</p>

<p>議長</p>	<p>榎法華の地名を消してしまったのかということ聞かれるが、現在、私もはっきり理解できていない部分ある。それで、どのように答えて良いかちょっと分からないというのが今の現状である。もう2年と8か月くるが。</p> <p>それで、行政の方ではどのように皆さんに聞かれた場合には答弁しているのか。それを、教えていただきたいと思う。</p> <p>私、結構、あちこち特産品持っていったりして、地元のPRに行くので、すごく聞かれる。よろしく願います。</p>
<p>小市光子委員</p>	<p>今、小市委員が考えている、例えば、それが実現するしないではなくて、そういう具体的な何かこんな方法はどうですかというものはあるか。</p>
<p>議長</p>	<p>ある。できれば、榎法華というブランド、地名を取り戻していただきたいのが一番である。</p>
<p>議長</p>	<p>函館市元村ではなくて、函館市榎法華町、町になるかどうか別にして、函館市榎法華。</p>
<p>小市光子委員</p>	<p>はい。1丁目何番地とか。例えば、うちの辺りでしたら、2番地ですよね。ですから、昔から良く言われている自動車道路ありますよね。あそこから浜に向かって右側は1丁目、左側は2丁目というふうにしてもこれだけの地域ですから。</p>
<p>議長</p>	<p>今まで八幡町とか銚子とか何とかというのはやめて、函館市榎法華町1丁目から10丁目だとか1丁目から3丁目とかという方が榎法華という名前を使いやすいからいいんじゃないかという、提案ですね、小市委員の案としては。</p>
<p>小市光子委員</p>	<p>例えば、この地域も人々も結構、今のところは元気ですよ。元気なうちにそういうことを取り戻してもっともっと特産品を作ってPRするため、あと結構バスガイドさんにまでも言われるが、クイズにまでなっていた榎法華をどうして無くしたんだと、そういう苦情も結構聞かされる。</p>
<p>議長</p>	<p>ですから、できれば、地名を取り戻していただければ、すごく幸いです。</p>
<p>三輪支所長</p>	<p>支所長。</p> <p>はい。非常に答えづらい部分がある。合併をする時点で船木支所長時代であるが、合併をするという条件の中に地名の問題がかなり大きな論点になっていた。しかし、市の方針の中で、旧榎法華という地名についての整理はその段階で2年8か月前にすべて了解をし、それで合併に臨んでるという形である。ですから、榎法華という地名を取り戻していただきたいという部分については、現状の中では非常に無理</p>

	<p>であると、そういうお答えをさせていただく。それから、椴法華ブランドを作っていくかということについては、これはこれからの椴法華地域全体でみんなで頑張っていくことだと思っているので、まず、最初の冒頭の椴法華という地名を取り戻していただきたいということについては、非常に現状では無理であるということをお伝えをしておきたいと思う。もう一つのブランドについては、何回も言いますけれどもこの4町村の中には、有名になってきている戸井のマグロ、うちはあまり有名でないかもしれないが古くから作っている椴法華ブランドおとひめ昆布だとかいろんなものがある。</p> <p>商工会のエビ丸君なんかも頑張っているようですから、こういうものを地域の中で頑張る、そして知名度を高めていくという、そういう運動、活動についてはできるので、小市さんが質問なっていることに全面的に回答になっているかどうか私自身もちょっと不安であるが、それをご了解をいただきたいと思う。</p>
小市光子委員	<p>すみません。あの了解というか自分なりには仕方無いなという部分はあるが、すべてあの時に理解したようには、私達は思っていない。</p> <p>やっぱり、A・B・Cパターンありましたよね。結構、アンケートとった時には、私なりには椴法華というふうに結構そういう方がいいが、マルした方いるんですよ。だから、ここの地域の皆さんが全面的に合併に伴って椴法華という名前消すことに対しては理解していない人結構多いと思う。それは、皆さんから結構言われる。もちろん私もそうである。</p> <p>難しいということは、どう難しいのか今、お聞きできればそれも説明皆さんにはできますよね。どう難しいのか。</p>
議長	支所長。
三輪支所長	<p>はい。難しいという抽象的な言葉で答えているから、なお、理解に苦しむのかなと思って今、少し反省をしている。</p> <p>現実的に、合併時の平成16年の11月ですか、その段階にはまず戻れないということである。はっきり言いますけれども。だから、そういうものに対して全部、旧4町村、それから函館市、これが合意のもとできちっと項目を進めていることに対して大きな部分に地名の問題がある。</p> <p>それは、ここの代表である議員さんも住民のアンケートをとったのももちろん当たり前の話だと思っている、意見ということで。</p> <p>しかし、それを全部集約して議員さん含めて合併という協議会に臨んで決定した事項を今それを覆すということは、できないので、まず無理であるというふうに答えている。以上です。</p>
小市光子委員	<p>それでは、どう考えても駄目だということですね。分かりました。自分でもまだ納得はできてませんけれども。</p>
議長	建設課長。

<p>建設課 (嶋村課長)</p>	<p>合併当時，私，一部，事務を担当していたので，その立場でなぜ榎法華という地名を残せなかったのかということについてのみお話しをさせていただく。</p> <p>合併協議会で最後までもめた。これは，榎法華ばかりでなくてある地区でも非常にその旧町名を何とか残せないのかということで最後までもめた経緯がある。</p> <p>ですが，最終的にはやはりこの函館市という合併になる時点なるべく早く函館市として一体感をもたせるために，それぞれの今まで使っていた旧町村名を使わないようにしましょうと。そして，函館市それぞれ例えば，ここでいくと新浜町だとか戸井地区でいくと函館市浜町だとか，そういうことでやっていきましょうという最終的なそういう考えのもとに，ある地区からはやむなく，そういう考えのもとに妥協したところである。ですから，それを，今また榎法華地区だけ榎法華という部分をなかなか復活するにはちょっと難しいのかなと，もう少しこれは，また，時間・年数が経過と同時に社会状況も変わればまたその辺のところそういう復活という話しも出てくるかも分からないが，現状では，そういう考えのもとにやったんでなかなか復活することは難しいということである。</p>
<p>議長</p>	<p>よろしいか。</p>
<p>中村陸三委員</p>	<p>議長，よろしいか。</p>
<p>議長</p>	<p>今の関連か。</p>
<p>中村陸三委員</p>	<p>はい，関連です。</p>
<p>議長</p>	<p>はい，中村（陸三）委員。</p>
<p>中村陸三委員</p>	<p>よろしいか。そうすると，ちょっとお聞きしたいのは，住民本位のアンケートをとったとおっしゃいましたが，そのことについては，どのような結果が出たのか，お知らせできないか。</p>
<p>議長</p>	<p>それは，できるでしょ。アンケートの結果というのは踏まえてるか。今できるか。今，資料が無いから難しいか。</p>
<p>三輪支所長</p>	<p>ちょっとですね，この問題については，結論から言いますけれども資料等手元に無く，この場でお答えすることはできないので，少し時間を貸していただきたいと思う。</p>
<p>議長</p>	<p>次回の地域審議会でもよろしいか。 小市（光子）さんもよろしいか。</p>
<p>小市光子委員</p>	<p>はい。</p>

議長	次回にその資料を皆さんに提示をお願いします。
佐藤シマ委員	<p>私は、まったく今、小市（光子）さんが言うのと反対というわけではないが、その時点でもう決まって2年と8か月も9か月も経ってようやく今榎法華が函館市新浜町とか新八幡町とかって、だいたい慣れてきた。そして、堂々と榎法華という地名を使っていけないということないんですものね。</p> <p>みんないろんな函館市榎法華何々と。私方は老人クラブだから榎法華老人クラブと堂々と書いている。それから、4町村で提携結んだ時も榎法華老人クラブとガッチリ、書いたし南茅部老人クラブとちゃんと書いてねそういう提携を結んでいるから、今更、戻ってその時点どうだって言ったって、議会でも決めてしまって、懇談会やってある程度決めてしまって榎法華というのを。もっとも、私、本音は無くしたくないし、榎法華というのはここで生まれ育って70年も80年もなろうとしている時に、代々の年代のそういう年代から見て、本当に榎法華というのは無くしたくないという、腹は、本当にその時は残念で残念で涙流したくらい残念だったけれども、さっき言ったように係の方言ったように、その時、時代それに沿っていかないとならない、そういう時代になってしまったんだから、それを、どうのこうのと今また引っ張り出して、あれしたって話しがまとまらないからね。</p>
議長	<p>ここは、そういうの討論するのも結構であるが、小市さんの意見に対して、それについての反論とか何とかってことやると、みんな意見言い難くなる。それはそれとして、今、アンケートの結果が出て、その時の結果がどうだったのかというのがあって、そしてまた、住民調査するとかあらためてとかっていう機会があったらするということで。今みたくしてやる席ではないので、討論は結構ですがね。</p>
佐藤シマ委員	分かりました。納得しました。
三輪支所長	ちょっといいですか。
議長	はい、どうぞ。
三輪支所長	<p>こういう言い方をすると、きつい言い方になるので、差し控えていたが、住民説明会を何回も繰り返している。</p> <p>それから、アンケートについても、地名の問題についても当然ながらだが、村の方向性というか旧村の話したが、船木支所長時代にこっちの方向で選択するという最終的な部分の住民説明会を繰り返しているわけです。その中で、アンケートの結果は結果としても、それを選択して2年8か月前に選択をしたという事実があるという、これについては、榎法華の住民、真剣に受け止めて欲しいんです。そうでないと、これからの新しい地域づくりという部分が進んでいかないという部分もある。復活をしたいという意見は意見として、当然、私ども受け止めておきますけれども、みんなそういう想いは同じだと思ってい</p>

議長	<p>る。ですけれども、一つの選択をしたわけですから、その中で、我々はこれから地域の振興のために、やっていかなければならないという時期が来ているという部分をご理解を願えれば良いなと思っている。以上です。</p> <p>この問題については、私はここにいるから言えないが、アンケート調査を見て、将来、また考えるために持っておくということもどうかと思う。</p> <p>それで、この件は、次回にアンケート調査の公表をしていただくということで終わりたいと思うが、よろしいか。また、もしご意見があったら次回の時にまたいろいろ、ご意見を頂戴したいと思う。それでよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
議長	<p>町名については、そんなことでお願いする。他にございませんか。はい、小市(公三)委員。</p>
小市公三委員	<p>一つ参考までに聞きたいが、灯台資料館ですね。今、どのような現状で運営をしているのか。それと、今後またこれを活用するのにどのような考え方を持っているのか、その辺、お聞きできればと思う。</p>
議長	<p>産業課長。</p>
産業課 (越崎課長)	<p>灯台資料館については、現状は指定管理者制度を導入している。それで、従来は支所が直轄管理していたが、現在は函館市榎法華振興公社、ホテル恵風を管理している会社でだがそちらが管理をしている。今後についてもそういうような方向の中で管理運営を行っていくということで考えている。以上です。</p>
議長	<p>今の答弁でよろしいか。</p>
小市公三委員	<p>中身については、報告は資料か何かでできるか。</p>
産業課 (越崎課長)	<p>資料か。</p>
小市公三委員	<p>はい。どのような経営内容というのか。</p>
産業課 (越崎課長)	<p>客数だとか。</p>
議長	<p>入館者どのくらいあるのか。</p>
小市公三委員	<p>年にどのくらいの見学者が来ているのか。</p>

議長	はい、どうぞ。
産業課 (越崎課長)	雑ぱくであるが、平成17年度に関しては、3,875人。それから、18年度は3,300人ですね。すみません、18年度、資料が手元に無いので18年度は、今の数字間違っています。17年度は3,875人で、18年度は若干、指定管理者の努力によって増えている。数字については、後でお知らせするという形によろしいか。
小市公三委員	はい。それと、今後、今までどおりの運営の仕方でも今後ともやっていく予定でいるのか。このままの状況で。
議長	指定管理者でこのままでという意味。
小市公三委員	はい。
議長	産業課長。
産業課 (越崎課長)	今の段階では、このままの状況の中で管理運営を委託して進みたいというふうに考えている。
小市公三委員	当然、そうすると1年に3千人くらいだと思うんですね。ですけれども、何か活用方法、入館者を増やす方法、今後とも何か考えていった方が良くないかなと思うんですけども。
産業課 (越崎課長)	それらについては、指定管理者の中に管理運営それらの項目も含めた中で、いろんなアイデアも含めた中で、指定管理者にそれをお願いしている。今年に関しては、ホテル恵風と連動させた展開を今進めている。だから、ある意味、ホテル恵風と連動しているので若干は利用客が伸びていると。灯台資料館で子ども方に製作させたものをホテル恵風で12月に岬灯りのファンタジーということで光のファンタジーであるが、そういうものを今考えて行動していると。だから、結構、指定管理者制度がうまく機能していると、そのように考えている。だから、これからも、それらをさらに集客を図るための恵風との連携を図っていきたい。これが、一番良いのではないかとこのように考えている。
小市公三委員	分かりました。
議長	よろしいか。
小市公三委員	はい、すみません。ありがとうございます。
産業課 (越崎課長)	ちなみに、指定管理者に対する指定管理料、委託料845万円を支払っている。

<p>小市公三委員</p> <p>産業課 (越崎課長)</p> <p>議長</p> <p>産業課 (越崎課長)</p> <p>議長</p> <p>議長</p>	<p>すみませんけれども、後から資料もらえないか。</p> <p>よろしいですよ。</p> <p>今、資料届いたので。入館者の。はい、産業課長。</p> <p>入館者数について、先程、17年度3,875人、18年度に関しては3,998人と若干増になっている。</p> <p>他にございませんか。他に無ければ、地域振興全般に関する意見交換を終了したいと思うが、よろしいか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>7 その他</p> <p>議長</p> <p>事務局 (小山内課長)</p> <p>三輪支所長</p> <p>議長</p>	<p>次に、その他、事務局から何かございますか。</p> <p>はい、小山内課長。</p> <p>一点ほどあるが、これについては支所長の方から報告させていただく。</p> <p>私の方から一点報告させていただく。</p> <p>先程、建設課長の方から話しをしたその道道元村恵山線の改良の工事に関係する部分である。</p> <p>これに関連して、スケジュールについては、建設課長の方からお話ししたとおり21年度の着工に向けて頑張っって用地買収等やっていく流れになっている。</p> <p>これに伴い、元村地区にある旧榎法華村の発祥の地の石碑の移設をしなければならない状況が今生まれてきている。</p> <p>それで、今年度中に移設工事を予定しているので、適地については、いろんな意見を聞きながら、まだ、場所が未定で納る場所が決まっていないうが、これから協議して今年度中に工事をしたいという考え方をしているの、報告する。以上です。</p> <p>今の件について、もし、こんな場所どうですかというのは、この席ではなくて、直接、支所長あるいは地域振興課の方に提案があったら、提案できる方して下さい。</p> <p>他に事務局の方ございませんか。</p>

<p>事務局 (小山内課長)</p> <p>議長</p> <p>議長</p>	<p>無いです。</p> <p>各委員のご協力のもと、本日の報告案件の説明、意見交換等すべて終了した。</p> <p>次の開催時期は10月を予定している。次回の議題内容については、今回の意見等の集約結果と取り組み状況について、平成20年度事業計画(案)について、地域振興全般に関する意見交換を考えているが、日程も含め、正副会長に一任願う。</p> <p>(異議なし)</p> <p>どうもありがとうございます。次回の開催については、後日、また、ご連絡するので、よろしく願います。</p> <p>それでは、本日は長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして平成19年度第1回函館市榎法華地域審議会を終了する。</p>
<p>8 閉 会 (午後4時33分)</p>	

以上、平成19年度第1回函館市榎法華地域審議会会議録と確認する。

会 長 木 下 恵 徳 印